

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	入院や加齢に伴いADLが低下した時点で「仕方がない」とあきらめるのではなくテコ入れの方法を模索していく必要がある。	スタッフからの意見により生活リハビリが行われ普段起こりうる睡眠障害の改善などにつなげることが出来ている。	①日常生活における些細な変化に気づく。 ②利用者視点での生活リハビリが提案できる。 ③安全にリハビリが実施できる。 ④結果について利用者を中心にスタッフ全員で評価できる。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。